



2024.6.1 ライブカメラと季節外れの草津スキー場

発行元 小久保運送(有) / かたづけダンベえ0270-32-1542



ライブカメラって知ってます？私は仕事柄、道路状況を把握する際よく見るんです。それが様々な場所に設置されていることを、YouTube上で知り、楽しんでます。

そんなライブカメラですが、ほぼ毎日アクセスしているのが草津温泉ライブカメラ。最近できた温泉門、バスターミナル、湯畑や白根の様子等を24時間映してます。特に好きなのは草津温泉スキー場の天狗山の様子。この冬は毎日PC画面で、ゲレンデを眺めておりました。印象に残っているのが大雪の日。こんな吹雪の日に誰がスキーをするのか？と思いましたが、居るんですね～猛者が。もちろん安全確認を取りながらの運営だと思えますが、私ならこの状況でスキーやりたくないな等と思ったりして。まさにスキー場のリアルを居ながらに楽しめた、そんな冬でありました。特に今年3月は割と降雪があり4月初旬までスキー

も可でしたので、日々雪解けが進み変わりゆくゲレンデ映像も楽しんで次第です。

さて先日そんなライブカメラで毎日見ていた草津温泉スキー場へ行って参りました。もちろん雪はありません。でも以前この場でご紹介した、石打丸山スキー場と同じで、冬以外でも楽しめる様に色々なことに取り組んでいましたよ。

例えば昨年12月運行開始のバリスゴンドラ天狗に乗って山に上がると、そこには家族や仲間を楽しめる様々な設備が。お薦めは年齢関係なくトライする人が多いバンジージャンプ。ワイヤーロープを使って、山頂から一気に下界へ降りてきます。ちょっとやってみてみたいと思った私でした。その他、無料のテラスやレストランも。この冬毎日PCで見たスキー場と自分がいることがちょっと不思議。きっとこれからの季節、人気でそうな、そんなお薦めスポットになっていました。(TK)



## かたづけダンベえから

そろそろジメジメした季節、梅雨がやってきますよね。ご家庭にある前から気になっていた不用品等、おかたづけしてスッキリさせませんか？風通しの良いお部屋づくりを、かたづけダンベえがお手伝いいたします。

お気軽にお電話下さい。

～まちの運送屋さんがやっている～

### かたづけダンベえ

空家のお片付け、お引越、急送等々  
お気軽にお問い合わせ下さい

【電話受付】8:00～20:00 土・日OK 曜日のみ12:00～

☎0120-895-371

小久保運送有限公司 伊勢崎市八斗島町1604-8

ケ  
ロ  
コ  
ロ



これら新鮮な素材で作る天ぷ

り。生わさび、と安心安全な食材ばかり。自家栽培したもので育てる地元のものや、有機農法で入れたものを。天ぷらを揚げる油は、国産無添加の菜種油。そばに欠かせない山葵(わさび)も静岡県産の無農薬栽培の生わさびと安心安全な食材ばかり。



天せいろ 1540円



蕎麦は茨城県産常陸秋そばのみを使用。先代から使っていた特注の石臼で、風味を損なわないように、その日の朝に使う分だけ自家製粉した香り高い十割そばを提供しています。野菜は、可能な限り無農薬で自家栽培したもので育てる地元のものや、有機農法で育てる地元のものや、有機農法で入れたものを。天ぷらを揚げる油は、国産無添加の菜種油。そばに欠かせない山葵(わさび)も静岡県産の無農薬栽培の生わさびと安心安全な食材ばかり。

「十割そば 風の庭」さんのご紹介。伊勢崎市境島村。十割そばの「風の庭」さん。世界遺産「田島弥平旧宅」からもすぐの場所。以前惜しまれながら閉店した同店を、先代である亡きお父様の遺志を継ぎ、令和2年7月に娘さんが営業を再開。蕎麦は茨城県産常陸秋そばのみを使用。先代から使っていた特注の石臼で、風味を損なわないように、その日の朝に使う分だけ自家製粉した香り高い十割そばを提供しています。野菜は、可能な限り無農薬で自家栽培したもので育てる地元のものや、有機農法で育てる地元のものや、有機農法で入れたものを。天ぷらを揚げる油は、国産無添加の菜種油。そばに欠かせない山葵(わさび)も静岡県産の無農薬栽培の生わさびと安心安全な食材ばかり。

## ひとこと



「十割そば 風の庭」  
住所：伊勢崎市境島村2603-5  
電話：0270-71-6315  
営業日：木・金・土・日  
営業時間：11:30～14:30  
出典「アイマップ」www.imap.ne.jp

子供の頃、イベントが家族旅行の思い出があまりありません。それは私が中学生の時に、父が行った旅行で、黒部ダムへ行った旅行です。記憶があまりありませんが、二日の旅行で、泊まり、翌朝黒部ダムの宿に、トリリーバスに乗って、雪の壁を見て、黒部ダムの大きさに驚いた記憶があります。同時に車酔いにも悩まされた思い出も。もちろん当時高速は無し。ただ、山道十八号から市入り山峠を抜けて、松本大町市へ行く観光バスから、うねり運転した父は、きつなしだったかも知れません。オイルショックで、車を運送屋を始め、関係の仕事をして、父の黒部へ連れて行ったので、あのような旅行を思い出して、私です。